

千葉通運株式会社

の巻

暦のうえでは、啓蟄^{ちが}が過ぎたとい
うのに、昨晩はみぞれ混じりの雨が
降っていました。今日も春雨とい
うには冷たい雨が朝から落ちていた三
月十日、事業所訪問の第三回目と
してお邪魔することとなったのは、
千葉市美浜区に所在する千葉通運株
式会社でした。取材日はいつもそう
ですが「今日はどんな出会いがある
だろうか、いい取材ができるだろう
か」と期待と不安に包まれましたが、
私たちは目的地に向かいました。

**「健康保険」も「空気」も
放置すれば徐々に汚染する!?**

「こんにちは、健保組合です!」
と事業所のドアを開けると、三石社
長が「お忙しいなか、ようこそ」と丁
重に出迎えてくださいました。

三石社長のほかに、浅野部長と健
康保険事務を担当されている三橋さ

んがご同席くださり、早速取材が始
まりました。

冒頭、三石社長が「健康保険組合
の議員(組合会選定議員に就任され
ています)を経験させていただいて、
非常に勉強になった」と口火を切ら
れました。議員になるまでは健康保
険に関しては傍観するのみで、「保険
料を払うのだから療養の給付を受け
るのは当たり前」と既得権のように
考えていたことを猛省しておられ、
健康保険を「空気」に例えられまし
た。つまり「空気」は何もしなくても
享受できるものですが、しかしなが
ら議員に就任し、制度のしくみや運
営の厳しさを知り、「空気」も放置す
るならば徐々に汚染が進み生命に重
大な危険を与えかねないことに気づ
かれました。つまり、組合員一人ひ
とりが自覚をし、「空気」をきれいに
する努力をしなければならぬと付
け加えられたのです。

でした。

現在の景気の低迷を背景に、物流
コストは年々低くなり、事業主とし
ては将来的なビジョンを立てること
より今をどう生きるかに追われる毎
日である等、そのご苦勞を話されま
した。

一歩一歩堅実に、今まで培ったノ
ウハウを生かしてそれにさらに磨き
をかけ、今を乗り切るしかない現状
である一方、経営者として内外にビ
ジョンを示し、社員の方々の夢ある
職場にしなければならぬといった
双方のジレンマに陥るとお聞きし、
その心勞を察することができまし



▲千葉通運(株)社屋

その後、三石社長にご自身の健康
についてお聞きすると、特に気をつ
けていらつしやることはないとのこ
とでした。しかし、家族の既往歴を
考えて、一日に摂取する塩分には気
を遣われ、「慣れれば刺身も醤油な
しでいける」と徹底して実践されて
いるようでした。また浅野部長も毎
日のウォーキングを欠かさないと
ことで、お二人ともストレスの多い
職業柄、自然と健康の維持管理が身
についているのだと感じました。今
後も、健康管理はくれぐれも留意
されますようお願いいたします。

**減塩、ウォーキング…
さりげなく健康管理**

厳しい経済環境下ではあります
が、地道な努力がきつと大輪の花を
咲かせる日がくることを私たちは祈
っております。



▲三石社長(左)と浅野部長

私たちの組合は、当然ながら事業
主や被保険者の方々に支えられて運
営されており。残念ながら皆さ
んのご意見を個々にお聞きすること
はできませんので、その代弁者とし
て組合会議員の方々が運営に携わる
こととなります。こうしたことから、
三石社長は、意識改革のためにも全
事業主が議員を経験し、自分たちの
組合の健全運営をいかに維持する
かを真剣に議論し、自分の足下から実
践することが理想的だと述べられ
ました。

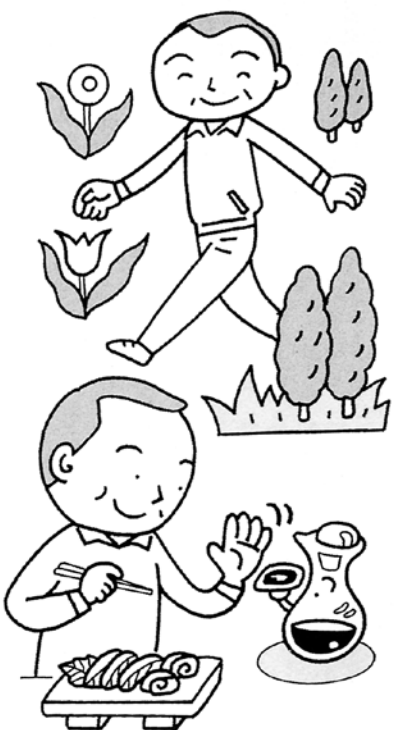
そのほかにも氏は、ご自身の議員
体験を文章に記してくださいと、前述

したような事柄や、会議のあり方、
組合員が積極的に組合運営に参画し
理解を深めることなどが必要だと丁
寧に述べられていました。

**厳しい経済環境下、
「総合物流」へシフトする**

その後、話題は社史とおして景
気の動向に移行しました。
千葉通運株式会社設立は、昭和
五十年のこと。近隣に貨物ターミ
ナルが設置される予定だったことか
ら、親会社である旭流通商事株式会
社が昭和四十八年に現在の所在地に
倉庫を設置し、事業の拡張をはかり
発足した企業だそうです。

かつては、「モノを運んで保管する」
といった単純な仕事の構造だったよ
うですが、現在では、例えばエアコ
ンを運んで取り付けをするといった
ように、他の事業所でもよくお聞き
する付加価値をつけた、いわゆる「総
合物流」に変化しつつあり、これに対
応できなければ淘汰されてしまう
という、厳しい状況下にあるとのこと



問わず行い、将来的にも安心できる
しくみを構築することが必要という
ことでした。これからの社会保険制
度が存続できるか否かは、そのよう
なところにキーワードがあるのでは
ないでしょうか。

最後に、健康保険の事務を担当さ
れていらつしやる三橋さんから健康
保険組合の事務処理の迅速さをほめ
ていただき、また保健事業に関して
は、厳しい財政状況は理解するもの
の、特に疾病予防に関しては、今ま
で以上に力を注いで欲しいとの率直
な意見をいただきました。

最近健康保険組合の本分である
保健事業が十分にできないような環
境下にあります。費用をかけなく

でもできることから工夫をして事業
策定をしていく必要があり、今まで
の事業を見直す岐路に立たされてい
るのだと実感しました。

こうして、組合と事業所とのあり
方などを改めて見直すよいチャン
スを与えていただき、非常に有意義な
時間を過ごした今日の取材を終えま
した。

ご協力ありがとうございました。

◇ ◇ ◇
いよいよ、本格的な春の到来です。
何かが始まる季節です。フレッシュマ
ンがあふれ街が活気づくことでしょ
うが、景気にも胎動が感じられるこ
とを期待しましょう。